

Ⅳ 平和と文化の発信

戦後文化資料等展示事業（予算額：約1,608万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートIIという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展と年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という情報誌を発刊して本市の戦後文化情報を発信しながら修学旅行生、大学関係者、観光客等を商店街に誘客し、中心市街地の活性化を図ります。



図書館建設推進事業（予算額：約97,626万円）

今の沖縄市立図書館は、建てられてから30年がたち、図書館がせまいことと駐車場が少ないことが問題となっています。そのため沖縄市は、平成23年から平成27年までの沖縄市の計画のなかに「新しい図書館づくり」ということを入れて、沖縄市中央にあるコリンザ1階に図書館の整備を目指しています。



今年度は昨年定めた「沖縄市図書館整備基本計画」をもとに、実施設計・改修工事を行います。

Ⅳ 平和と文化の発信

市民会館改修事業（予算額：約38,299万円）

沖縄市民会館は、昭和55年10月の開館から平成27年度で35年目を迎えます。文化施設としての安全面、機能面、快適施設利用サービス向上を目的に、これまでは主に防衛9条交付金や沖縄振興特別交付金等を活用して、音響、照明、空調、舞台等各設備において耐用年数を超える部分の改修工事を行っており、今後も継続的に実施する予定です。改修計画として、平成30年度を目処に改修の優先度が高い設備、備品を改修事業の中で実施していく予定です。（大ホール改修終了後、中ホールの改修を予定。）



平和行政推進事業（予算額：約933万円）

1945年9月7日、旧越来村森根（現在の嘉手納空軍基地内）において、日本とアメリカの間で沖縄戦の降伏調印式が行われ、公式に沖縄戦が終結して今年で70年を迎えます。沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために、「市民の眼・平和写真展」や「平和ロゴ・標語コンクール」、中学生16名と社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」、平和について学ぶ「市民平和講座」などの取り組みを行います。



Ⅳ 平和と文化の発信

青年会支援事業（予算額：約150万円）

沖縄市には、地域でエイサーやボランティア活動をしている青年会が23団体あります。今年は、若い青年が地域にこれからも活躍していけるように、「有識者会議」を行ないます。専門的な人を集めて、青年会の将来をどのように支え、課題を解決していくかを話し合おうという計画です。また、エイサーや青年会活動を助ける補助金も予算に含まれています。



自治会振興費（予算額：約374万円）

地域コミュニティの活性化について、自治会加入の促進につながる支援のほか、自治会に対し、軽貨物自動車や備品購入の助成を行います。

